

【オンラインセミナー 現地報告会シリーズ4】

リニアは止められる？

「大井川」をめぐる静岡県とJR東海の対立とは

共催 リニア新幹線を考える静岡県民ネットワーク、国際環境NGO FoE Japan
パタゴニア環境助成金プログラムの支援を受けて実施しております。

本日の流れ

1. 開催趣旨
2. イントロダクション：リニア中央新幹線の開発問題
3. 報告：リニアで静岡県はようになる？どうする？
林 克氏（リニア新幹線を考える静岡県民ネットワーク共同代表）
4. ゲストコメント：樫田 秀樹氏（ジャーナリスト）
5. 質疑応答

リニア静岡工区（8.9km）を巡る 静岡県とJR東海と国交省の攻防

水は大切
あたりまえ

リニア延期 駅ない静岡
はごねているのか

感染者対策よりリニア優先？

環境破壊

静岡「水問題」迷走

リニア妨害

いちゃもん

私たちはリニア問題を正しく理解しなければならない

リニアいらない

静岡のせい

国交省に失望

だだをこねている

※SNS等から引用

リニア中央新幹線の開発問題

リニア開発の経緯

1962年	リニアモーター推進浮上式鉄道の研究スタート
1973年	中央新幹線の基本計画決定
1977年	宮崎実験線開設
1990年	山梨リニア実験線の建設開始
1997年	山梨リニア実験線の走行試験開始
2011年	全国新幹線鉄道整備法に基づき中央新幹線の整備計画を決定 南アルプスルートを採用
2014年	全国新幹線鉄道整備法に基づく中央新幹線の工事実施計画その1（品川～名古屋間）に認可 環境影響評価公告
2018年	工事実施計画その2に認可

リニア中央新幹線の開発問題

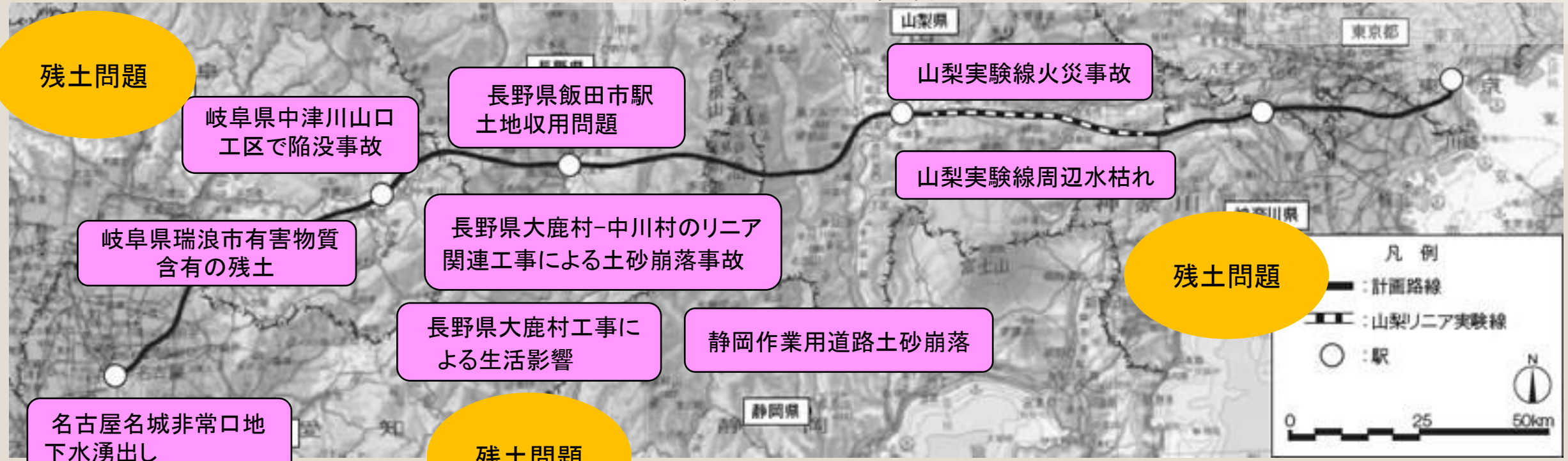
- ・ トンネル（全長の86%）工事による生態系への影響
- ・ 水脈、水資源への影響
- ・ 電磁波による健康影響
- ・ 10年にわたる工事による生活影響
- ・ 駅等の建築物による住環境への影響
- ・ 大深度地下使用による住民の権利侵害
- ・ 公共交通機関としての安全性への疑問
- ・ 行き場のない大量の残土
- ・ 原発依存の大量エネルギー消費
- ・ ずさんな環境アセスメント
- ・ 財政投融资の活用（3兆円）
- ・ 国民的議論の不在
- ・ 大都市への集中・利便性、経済性の優先＝時代に逆行

**気候変動、自然災害の頻発、世界規模の感染症の蔓延という新たなリスクに直面する現代。
生態系を破壊する無理な開発を見直し、気候変動等環境変化を見込んだ環境配慮型の土地利用、ライフスタイルが必要な時代。**

すでに各地で起きている事故・影響（一部）

南アルプス市住民による工事差し止め訴訟
高架橋による生活環境問題

大深度地下使用認可
に対する審査請求



リニア新幹線沿線住民ネットワークによる認可取消訴訟



次回オンラインセミナー リニア延期の理由は静岡だけ？ ～沿線各地で問題だらけ

日時 2020年7月31日（金） 19：00

報告 檜田 秀樹 氏 （ジャーナリスト）

※申込はこちらから

https://www.foejapan.org/event/event_form.html